

町介護予防・認知症施策推進拠点施設 『えんじょいセンター』 が開館します



えんじょいセンターの事業一覧

事業	実施日・頻度	内容
①えんじょいサロン	毎週金曜日	さまざまな方の交流の場、居場所として、誰もが自由に参加できるサロンを実施
②介護予防教室 ※要申し込み	毎週火曜日	認知症予防や心身の健康維持のための運動やレクリエーション、座学の実施
③えんじょいカフェ	テーマごとに 月1回	認知症、家族介護者、介護職員の3つをテーマに、情報交換や専門職からのアドバイスの実施
④さわやか体操クラブ ※要申し込み	毎月第2、4水曜日 各回定員約10人	身体機能や健康の維持・向上のためのシルバーリハビリ体操教室の実施 ※地区に関係なく、誰でも参加できます。

町介護予防・認知症施策推進拠点施設「えんじょいセンター」が10月10日、町役場北側の旧町民センター食堂で開館します。高齢者などの健康増進やさまざまな交流に加え、町内で生活支援サービスなどを行う「おれんじボランティア」の活動拠点にもなる施設です。

この施設では、誰でも気軽に参加できるカフェやサロン、介護予防教室などを定期的に開催します。健康維持や仲間作り、介護の相談などにぜひ、ご利用ください。

えんじょいセンターの行事予定表（10月）

日	月	火	水	木	金	土
介護予防教室の参加者を募集します。10月と11月は認知症予防として、体と脳のトレーニングを同時に行い、認知機能の低下を防ぐ「コグニサイズ」が体験できます。ぜひ、ご参加ください。 ▼日時 10月20日～11月24日までの毎週火曜 全5回 午前10時～午前12時 ▼定員 15人程度 ▼申し込み 役場健康長寿課長寿支援係（☎611-2828）				1	2	3
	6	7	8	9	10	開所式 午前10時から
	13	④ 午後2時～午後3時	③ 午後2時～午後4時 (介護職員)	① 午前10時～午後3時	16	17
	② 午前10時～午前12時 (認知症予防)	21	22	① 午前10時～午後3時	③ 午前10時～正午 (家族介護者)	24
② 午前10時～午前12時 (認知症予防)	④ 午後2時～午後3時	28	29	① 午前10時～午後3時	30	31

- 申し込み・問い合わせ
- * 介護予防・体操教室 役場健康長寿課長寿支援係（☎611-2828）
 - * えんじょいサロン 町社会福祉協議会（☎611-2840）
 - * えんじょいカフェ、おれんじボランティアへの依頼 町地域包括支援センター（☎697-5570）



センターを拠点に活動する「おれんじボランティア」。
2列目右から4人目が昆会長

誰もが 心 開ける場に

おれんじボランティア
昆 江利子 会長

その後、昆会長をはじめとする住民主体で設立したおれんじボランティア。自身の介護経験などを生かし、今度は支える立場として、活動を始めることになりました。

気持ちに寄り添い

まずは『傾聴』

支援活動で心掛けることは、依頼者とのコミュニケーション。会話を絶やさず、できる限り要望に沿うように作業を進めたり、話をすることを楽しみにしている依頼者の昔話に耳を傾けるなど、常に依頼者の気持ちに寄り添いながら、取り組んでいます。

昆会長は、センターでの活動に向けて「ここで活動する中で『傾聴』がまず、大事なことになってくると思う。さまざまな悩みを持ち、訪れる方々が自然体で話すことができるような、誰もが心を開ける場にしていけたら」と展望しました。

生活支援サービスの活動風景



平成25年に設立し、町内の要支援者の要望に応じた生活支援サービスなどに取り組んでいる団体「おれんじボランティア」（昆江利子会長、会員37人）。

会員の主な活動は、二人一組で行う依頼者の自宅での掃除や洗濯、買い物。これに加えて、認知症の方とその家族の居場所づくりや交流の場となる「認知症カフェ」を開催しています。会員には、認知症となった家族の介護した経験がある

人や、看護師、介護士など元専門職も多く、会員間で情報交換を行いながら、適切な支援活動の実践につなげています。

これらの活動に加え、今後はセンターにおける、えんじよいサロン・カフェなどの開催に携わります。

支えられる立場から
支える立場へ

昆会長は、おれんじボランティアができる前、同居

する家族の介護をしていることから、町地域包括支援センター主催「家族介護者の集い」に参加。そこで、同じような境遇にある町民と会い、話すことが、在宅介護で悩む自身の心よりどころとなりました。

「今も介護は続いているが、当時は大変な時期で、混乱している頃だった。でも、集まりの中で、同じように悩みを持つ人と話すことが、私の癒しになっていた」と昆会長は話します。